

北町の史跡

ちょっと歩くだけで歴史を感じる町です。

下練馬の富士塚



富士塚の頂上・1/100の富士山



小御嶽神社



富士塚・教祖神



左側の富士山に模した山となっているのが、富士塚です。区の指定文化財で、頂上に浅間神社の石祠が祀られています。

江戸時代中ごろから昭和の初めころにかけて、富士山や神奈川県の大山を信仰する集まりが関東では盛んでした。

江戸時代に富士山に登り、頂上の富士浅間神社奥宮に参拝してくるのは、経済的にも大変な出費でした。そこで人々は寄合をつくり、会費を集め、毎年交代で大山や富士山へ行ってく代参制度が生まれました。その寄合は富士講や大山講と呼ばれました。富士講が盛んになると富士山を模したミニチュアの富士山である富士塚が各地に造られました。富士参拝と同じご利益が受けられるとされています。

この北町の富士塚は下練馬宿の人々の富士講により江戸時代に造られたと言われています。高さここからは約5mですが、頂上の標高は37.76mで、ちょうど富士山の100分の1の標高をもつ富士山です。

富士山の溶岩を配し作られ、ジグザグの登山道沿いには烏帽子岩や小御嶽神社を示す石などがあり、本物の富士山そっくりです。ここにある記念碑からは明治5年、昭和2年に修復をしたことが記されています。



浅間神社山開き